

世界セレクトティブ株式オープン

<為替ヘッジなし>

世界セレクトティブ株式オープン

世界セレクトティブ株式オープン（年2回決算型）

<為替ヘッジあり>

世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり/年1回決算型）

世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり/年2回決算型）

運用状況と今後の運用方針について

2022年4月26日

平素は、「世界セレクトティブ株式オープン」、「世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり/年1回決算型）」、「世界セレクトティブ株式オープン（年2回決算型）」、「世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり/年2回決算型）」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、各ファンドとも2022年4月25日に決算を迎えました。次ページ以降、運用状況、今後の運用方針についてお知らせいたします。引き続きお引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※上記 4 ファンドの総称として「世界セレクトティブ株式オープン」を用いています。

※各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。

世界セレクトティブ株式オープン：為替ヘッジなし/年1回決算型

世界セレクトティブ株式オープン（年2回決算型）：為替ヘッジなし/年2回決算型

世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり/年1回決算型）：為替ヘッジあり/年1回決算型

世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり/年2回決算型）：為替ヘッジあり/年2回決算型

2022年4月25日現在

	為替ヘッジなし /年1回決算型	為替ヘッジなし /年2回決算型	為替ヘッジあり /年1回決算型	為替ヘッジあり /年2回決算型
当期決算 分配金 (1万口当たり、税引前)	100円	290円	0円	0円
基準価額	13,249円	10,002円	10,001円	9,132円
純資産総額	145億円	223億円	1億円	3億円

※分配金は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社（大和アセットマネジメント）が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

過去1年の市場動向（2021年4月～2022年4月21日）

海外先進国株式市場は、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展や堅調な経済指標の発表が続いたことなどにより、2021年9月初めにかけて上昇しました。9月末にかけては、米国の量的金融緩和の早期縮小観測や連邦政府の債務上限問題、増税への不透明感などから、株価は下落しました。10月に入ると、良好な企業決算の発表を受けて、株価は再び上昇しました。その後は、米国などでインフレ加速を受けて早期利上げ観測が強まったことや、新型コロナウイルスの新変異株への警戒感が広がったことなどから一時的に下落する局面はあったものの、良好な経済指標の発表が相次いだことなどから、年末にかけて株価は上昇基調を維持しました。

2022年に入ると、FRB（米国連邦準備制度理事会）による金融引き締め懸念で金利が上昇したことや、ロシアによるウクライナ侵攻で資源価格が急騰したことなどが懸念され、3月半ばにかけて株価は下落しました。その後は、FRBの利上げ決定で悪材料出尽くし観測が強まったことや、ロシアとウクライナによる停戦協議の進展期待もあり反発しました。

海外先進国株式市場の推移

（2021年3月末～2022年4月21日）



※海外先進国株式はMSCIコクサイ指数（税引後配当込み、現地通貨ベース）を使用しています。

当ファンドの基本方針

- ① 徹底したリサーチを通じて選別した持続的な優位性を持つ質の高い企業の株式等に中長期に投資することで、優れたリターンの獲得をめざします。
- ② ファンドの市場連動性を一定程度以下に調節することで値下がりリスクの抑制に努めます。
- ③ ポートフォリオの構築にあたっては、確信度の高い銘柄に対する集中投資を行います。投資銘柄数は、原則として20銘柄以上、40銘柄以下とします。
- ④ 投資対象とする株式等は、取得時に、原則として時価総額250億米ドル以上の銘柄※とします。ただし、原則として原油や天然資源などの商品市況に影響される銘柄は除きます。

※一般的に大型株と言われます。

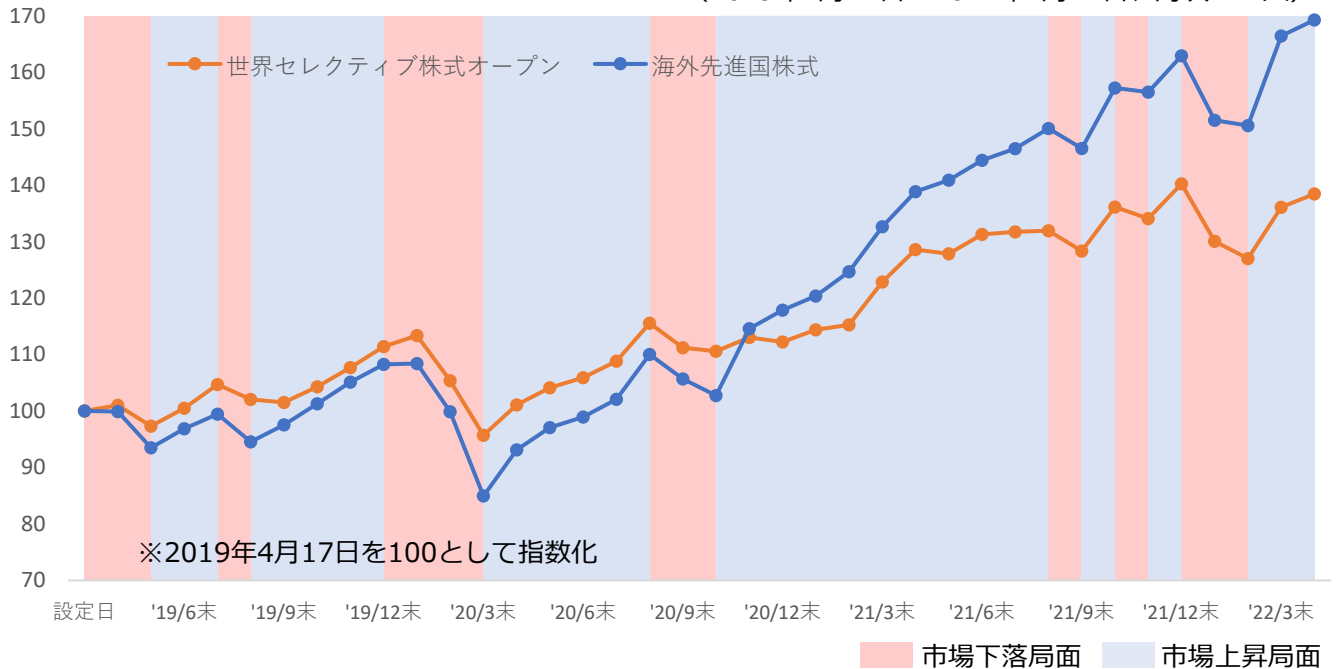
ファンドの主な特徴

- 海外大型株へ投資
- **株式市場との連動性を常に8割程度以下に維持**し、値下がりリスクの抑制を目指す
- 確信度の高い銘柄に集中投資することで、株式市場の上昇局面にも追随を目指す

運用状況

世界セレクトティブ株式オープン*の基準価額と海外先進国株式市場の推移

(2019年4月17日～2022年4月21日、月次ベース)



*世界セレクトティブ株式オープン（2019年4月17日設定）のパフォーマンスを掲載しております。
 ※海外先進国株式はMSCIコクサイ指数（税引後配当込み、円換算）を使用しています。
 ※各月末値を使用しています。また、2022年4月については4月21日の値を使用しています。

出所：ブルームバーグ

世界セレクトティブ株式オープン*と海外先進国株式市場のパフォーマンス

	21年4月26日 ～21年10月25日	期間① 21年10月25日 ～21年12月末	期間② 21年12月末 ～22年3月10日	期間③ 22年3月10日 ～22年4月21日	設定来
世界セレクトティブ 株式オープン	6.3%	3.7%	-13.0%	13.4%	38.4%
海外先進国株式 (MSCIコクサイ)	14.1%	4.6%	-10.0%	15.5%	69.3%
超過収益	-7.8%	-0.9%	-2.9%	-2.0%	-30.8%

*世界セレクトティブ株式オープン（2019年4月17日設定）のパフォーマンスを掲載しております。
 ※海外先進国株式はMSCIコクサイ指数（税引後配当込み、円換算）を使用しています。

出所：ブルームバーグ

※投資対象ファンドの委託会社であるノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社の提供するコメントをもとに大和アセットマネジメントが作成したものです。

過去6ヶ月の運用状況

※2021年4月から10月の運用状況は2021年10月26日発行のファンドレターをご参照ください

Ⅰ 期間① 21年10月25日～12月末：世界株式はもみ合うなか、高値を更新

➤ 市場への連動性を高める運営を継続するなか、概ね市場に追随

キャッシュ比率を低水準に維持しつつ市場への連動性を高める運営を継続するなか、クラウン・キャッスル・インターナショナルをはじめとする低感応度銘柄群、及びマイクロソフトの株価が大きく上昇したことから、当期間のパフォーマンスは参考指数を概ね追随する展開となりました。

クラウン・キャッスル・インターナショナルなどの低感応度銘柄群は、米国の金融引き締めへの警戒感を背景にディフェンシブ株への資金シフトの動きが強まったことなどから、同期間の後半に総じて株価が大きく上昇しました。

マイクロソフトは、アジュールがけん引してクラウドサービス事業の拡大が続き、21年7-9月期の純利益が四半期として初めて200億ドルを超えたことなどが好感され、株価が上昇しました。

マゼラン社では、今後も主に**クラウドサービス事業の拡大により成長が持続**し、同社全体の**売上高は30年度にかけて21年度の水準から2倍以上に増加（年率10%程度の成長）**すると予想しています。この成長をけん引するのがアジュールで、世界的なクラウドへの移行を追い風として30年度までに**アジュールの売上高のみで21年度の同社全体の売上高を上回る**規模にまで成長するとみています。

Ⅰ 期間② 21年12月末～22年3月10日：市場下落局面。バリュー株が優位

➤ 市場の下落リスクに対する認識を強め、キャッシュ比率を若干引き上げ

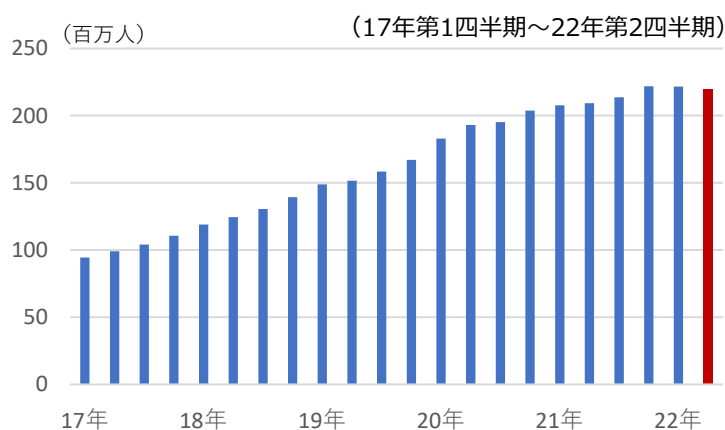
年明け以降、インフレ圧力の高まりなどによる市場の下落リスクに対する認識を強め、キャッシュ比率を若干引き上げました。市場が下落するなか、キャッシュやエクセル・エナジーほか低感応度銘柄群の保有がプラスに寄与しました。一方で、ネットフリックスやメタ・プラットフォームズの株価が大幅に下落したことや、原油高を背景に株高となったエネルギーセクター銘柄の非保有がマイナスに寄与し、当期間のパフォーマンスは参考指数を下回る結果となりました。

※投資対象ファンドの委託会社であるノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社の提供するコメントをもとに大和アセットマネジメントが作成したものです。

ネットフリックスは、21年10-12月期決算で売上高が四半期ベースで過去最高を更新したものの、22年1-3月期の会員純増見通しが一部市場予想を下回ったことなどから、今年1月に株価が下落しました。また、4月の1-3月期決算も、過去10年余りで初となる会員数の減少や4-6月期の会員減少見通しを発表したことなどから、決算後株価は下落しています。

マゼラン社では、直近の決算発表などで示された、**広告付き低価格プランやパスワード共有により無料で視聴してきた利用者の会員化推進による収益への貢献見通し、競争環境等について詳細な分析**を行っています。引き続き、同社は競争優位性（エコノミック・モート）を持っていると見ていますが、決算状況などを踏まえて、同社に対する**投資判断、長期的な株価ターゲットやバリュエーション評価について見極める方針**です。

■ ネットフリックス 有料会員数の推移（四半期別）

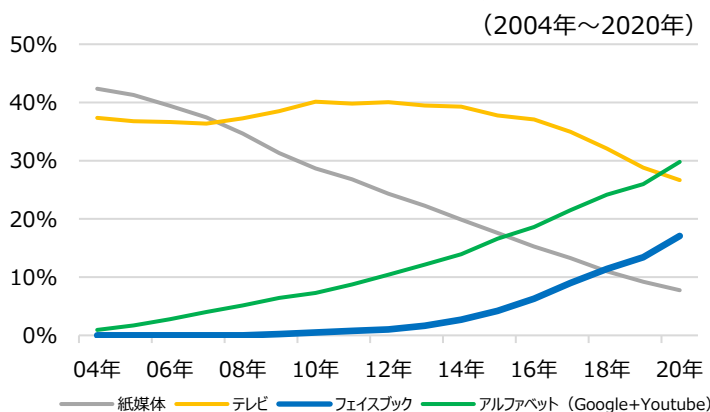


(出所) ネットフリックスの資料を基にノーザン・トラストが作成
22年第2四半期はネットフリックス社の予測値

メタ・プラットフォームズは、21年10-12月期決算で売上高が前年同期比20%増となったものの、純利益が8%減となったことなどが嫌気され、株価が下落しました。同社は21年10月にフェイスブックからの社名変更とともに、インターネット上の仮想空間「メタバース」の構築に注力する方針を発表しました。

マゼラン社では、メタバースは次世代プラットフォームとして成長ポテンシャルを備えるものの、今後数年にわたり巨額の投資コストが必要とされることなどから、業績を巡る不確実性が従来より高まったと判断し、21年10-12月期に株式の一部売却を行いました。

■ グローバル広告市場シェア推移（除く中国）



(出所) マゼラン、ノーザン・トラスト

しかし、主力アプリのフェイスブックやインスタグラムは、ネット広告配信を通じて**ユーザー自身が認知していない興味関心を掘り起こすことに長けている**など、グーグルなどに対する**差別化要因を有しており、広告プラットフォームとしての優位性は維持**するとみています。また、費用対効果の高さを強みとして、今後もテレビや紙媒体からの乗り換えが続くとみています（左図）。同四半期決算では減益となったものの、引き続き高い利益創出力を評価しており、ポジションを縮小した上で保有を継続する方針です。

※投資対象ファンドの委託会社であるノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社の提供するコメントをもとに大和アセットマネジメントが作成したものです。

■ 期間③ 22年3月10日～4月21日：リスクオンの動きから、市場は総じて上昇

▶ キャッシュ保有がマイナス寄与するも、概ね市場に追随

市場が上昇局面となる中で、ノバルティスやマスターカードの株価が大幅に上昇したことなどから、当期間のパフォーマンスは参考指数に概ね追随する結果となりました。

ノバルティスは、傘下のジェネリック医薬品部門サンド社の事業見直しを進めるなかで、複数のプライベート・エクイティが買収に興味を示したこと、新薬候補の拡充および生産性向上を目的とした組織再編により24年までに10億米ドルのコスト削減が見込めるとの発表が好感され、株価が上昇しました。

マゼラン社では、同社は治療法の確立していない分野での**高い研究開発力**や**豊富な新薬候補ラインナップ**を競争力の源泉として、高度な医療ニーズに応える**画期的な医薬品**を生み出し続けることで、安定的な収益成長を実現していくとみています。

マスターカードは、利益率の高い海外決済の回復トレンドが継続していることが21年10-12月期決算で確認され、株価が上昇しました。

マゼラン社では、**キャッシュレス化の流れ**の中長期的な持続に加え、**移動制限の緩和**という短期的な追い風により、利益成長が持続するとみています。足元では世界的なインフレ懸念が広がっていますが、**商品やサービス価格の上昇は、決済額、ひいてはマスターカードが得る手数料収入の増加に直結**すると考えられるため、インフレはむしろ同社に恩恵を与えることになるとみています。

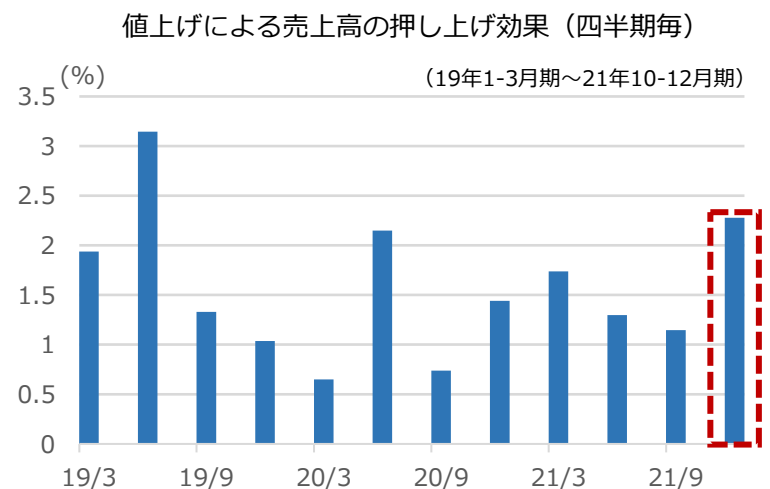
※投資対象ファンドの委託会社であるノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社の提供するコメントをもとに大和アセットマネジメントが作成したものです。

トピック①：インフレに強い保有銘柄

22年4月に発表された3月の米消費者物価指数が前年同月比8.5%上昇するなど、米国ではインフレ圧力が一段と高まっています。しかし、当ファンドで保有する株式銘柄の多くは**競争優位性（エコノミック・モート）**を背景に、**インフレを価格に転嫁できる価格決定力**などを備えていると判断しています。

保有する**プロクター・アンド・ギャンブル**はそうした銘柄の代表例として考えています。経済再開による**原材料価格や輸送費等の大幅な上昇**を受けて、同社は21年10-12月期にも**幅広い商品で値上げ**を実施しました（右図）。また、同期の決算発表では、**値上げ継続を前提**に22年度の**売上高予想を上方修正**するガイダンスを発表しています。マゼラン社では、同社CFOと直接面談し、値上げの影響について議論しました。小売業者から**値上げへのネガティブな反応がない**ことなどを把握し、同社が**インフレ環境下でも堅実な業績を実現**することが可能であるとの確信度を高めています。

プロクター・アンド・ギャンブルの価格決定力



(出所) 決算関連資料等を基にノーザン・トラストが作成

トピック②：中国株の保有解消

アリババ・グループ・ホールディングについては、「中国中間層消費の拡大」というテーマのもと、19年7月に投資を開始し、保有を継続してきましたが、当期末にかけて全売却しました。

足元中国では、政府によるIT関連企業や教育産業、不動産業界などに対する**一連の規制強化の動き**や、コロナ禍での厳格な都市封鎖を行う**ゼロ・コロナ政策**の実施などにより、**成長鈍化懸念**が強まっています。そうした中で発表されたアリババの21年10-12月期決算は、主力の国内ネット通販事業での競争激化の影響などから売上高の伸びが前年同期比10%と14年の株式上場以来最低となり、営業利益も同86%減と低調な結果となりました。また、ウクライナ・ロシア戦争に伴う対ロシア制裁強化を受けて、**米国議会**で共和党議員がロシアと近い関係にある**中国への制裁強化**を呼びかけるなど、その影響が中国にも及ぶ可能性が高まっています。こうしたことから総合的に判断し、ポジションを解消することとしました。

※投資対象ファンドの委託会社であるノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社の提供するコメントをもとに大和アセットマネジメントが作成したものです。

市場見通し・今後の運用方針

- 今後の株式市場動向は、短期的な不確実性の高まりと中期的な期待リターンの低下を予想
- 長期投資の実現には、当ファンドが実践する下値リスクの抑制が一助となる可能性

予想以上のインフレ長期化に対する中央銀行による金融引き締め策の加速から、株式市場の不確実性や変動性が高まっており、そうした状況は短期的に持続すると想定しています。ロシアのウクライナ侵攻は状況をさらに悪化させており、インフレ圧力を高めるとともに、世界経済の成長見通しの重しになっているとみています。

足元の金融政策の転換は、投資リターンに対して大きく2つの影響を与えると考えられます。その一つは経済成長の減速で、最終的に企業の利益成長の重しとなるものです。もう一つは、経済や企業利益見通しに対する不確実性が高まることで、その他の外生的ショック要因に対しても株価が敏感に反応する地合いとなります。こうしたことから、これまで株式市場が実現してきた良好な投資リターンは今後、中期的に低下すると考えられます。

株式市場の先行きに対する不確実性の高まりに鑑み、**引き続きキャッシュ比率を一定程度高めたポートフォリオ運用を行う方針**です。その一方で株式部分の構築に関しては、世界のメガトレンド（中長期的な構造変化）に着目し、その恩恵を受けて高い利益成長の持続が見込まれる銘柄への厳選投資を継続し、市場上昇への追従を図る方針です。

マゼラン社は、過度なインフレの高まりや断続的な利上げ実施といった株式市場に逆風となる環境下では、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち継続的な利益成長を実現できる優良企業へ投資することが、最も有効であると考えています。こうした企業の**株式は市場下落局面での下値抵抗**力が期待でき、市場との連動性を8割程度以下に維持する当運用戦略のリスク・コントロール手法と組み合わせることで、**不確実性の高い局面での底堅いリターン**の実現に寄与するとみています。長期的な投資目標達成のためには、市場環境に惑わされず、投資を継続することが肝要です。厳選された国際優良企業への投資と、下落リスクを抑制し投資元本の保全を目指す当ファンドは、市場がしばしば直面する**不安定な局面においても、皆様の投資継続と、それによる長期的な投資成果実現**のお役に立てると信じております。

<エコノミック・モート（経済の堀）>

エコノミック・モートとは、参入障壁の高さを意味する言葉です。

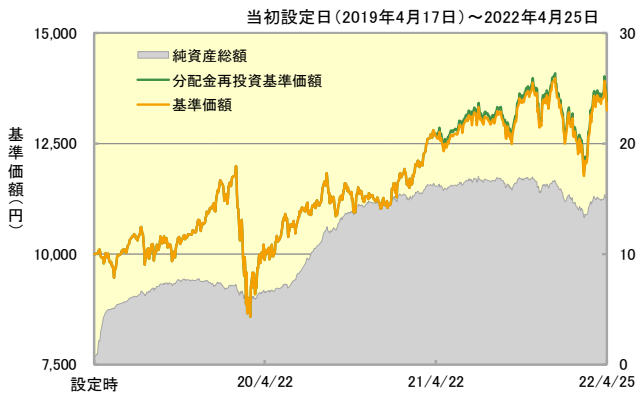
これらを持つ企業が今後も国際的な競争力を維持できると考えています。

- ・規模の優位性
- ・無形資産（ブランド、特許、知的財産）
- ・乗換コスト（顧客の囲い込み）
- ・ネットワーク能力（アクセス、価格競争力、寡占）
- ・心理的な優位性（安心、親しみ感）

■ 基準価額・純資産の推移（2022年4月25日現在）

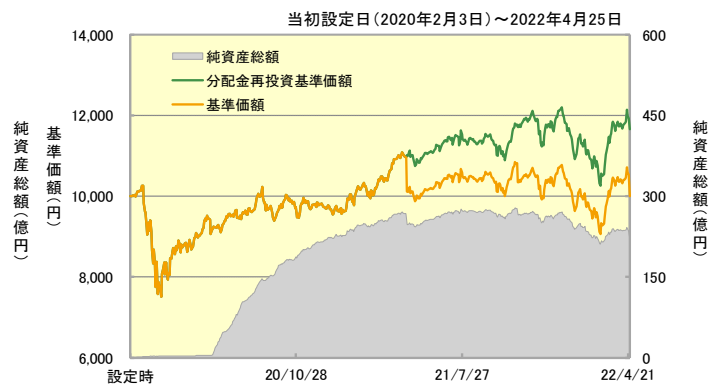
■ 世界セレクトティブ株式オープン

基準価額	13,249円
純資産総額	145億円



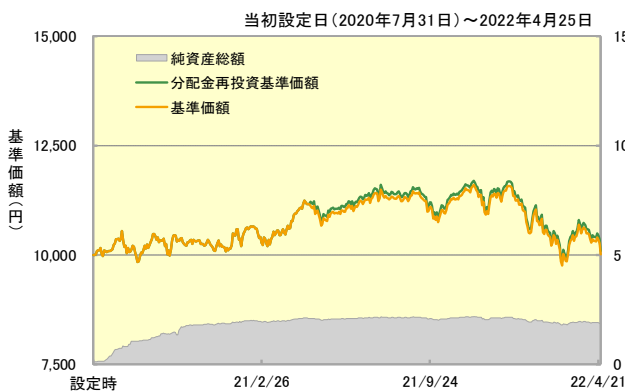
■ 世界セレクトティブ株式オープン（年2回決算型）

基準価額	10,002円
純資産総額	223億円



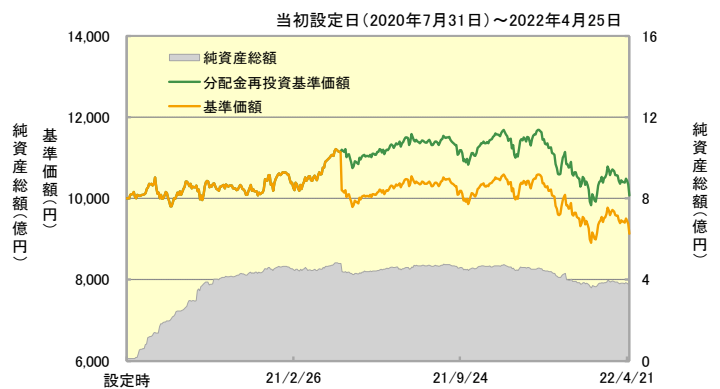
■ 世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり／年1回決算型）

基準価額	10,001円
純資産総額	1億円



■ 世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり／年2回決算型）

基準価額	9,132円
純資産総額	3億円

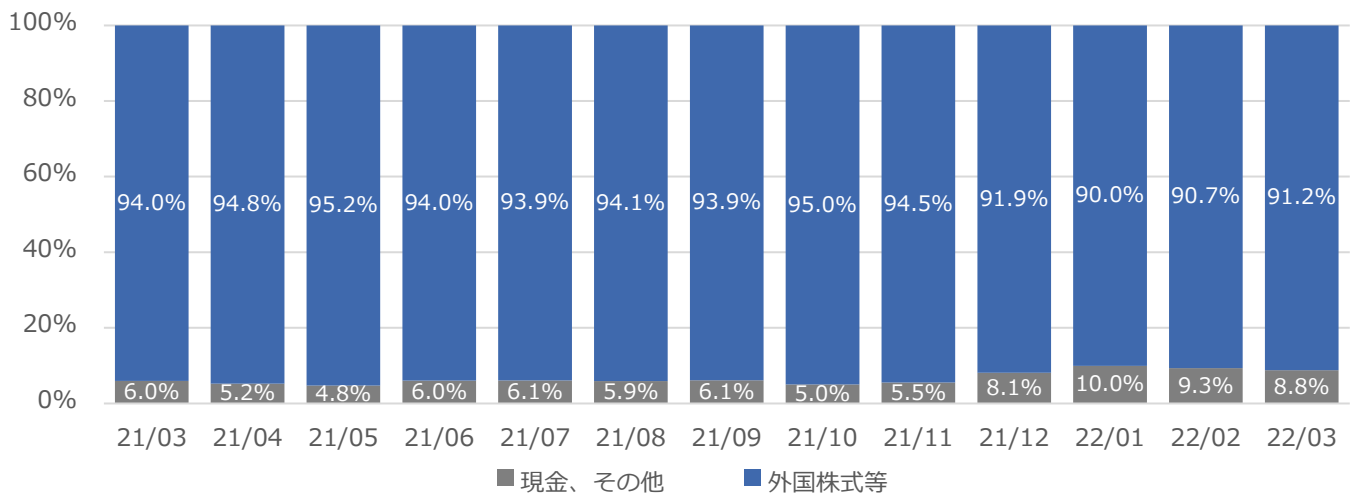


※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
 ※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

組入上位10銘柄 (2022年3月末時点)

組入上位10銘柄				合計48.3%
銘柄名	国・地域名	業種名	銘柄概要	比率
マイクロソフト	アメリカ	情報技術	世界最大のソフトウェア企業。ウィンドウズやオフィスは世界中で圧倒的シェアを持ち、SNSやクラウドビジネスも急成長中。	8.2%
ピザ	アメリカ	情報技術	ピザ・カードは発行枚数世界No.1。決済ネットワークを通じ、世界中のカード保有者と加盟店・銀行をつなぎ、利便性・安心を提供。	5.6%
アルファベット	アメリカ	コミュニケーション・サービス	世界の検索エンジンやモバイル端末向け基本ソフト(OS)で圧倒的シェア。検索、地図、YouTubeなどの主力サービスを月間10億人超が利用。	5.5%
マスターカード	アメリカ	情報技術	世界第2位の規模の決済ネットワークを持つ。世界210カ国・地域でサービスを提供し、新興国市場での売上高も拡大中。	4.8%
ペプシコ	アメリカ	生活必需品	世界第2位の食品・飲料企業。炭酸飲料「ペプシコーラ」やスナック菓子「フリトレー」、朝食シリアルなどを高いブランド認知度という強みを生かし、世界各地で販売。	4.7%
インターコンチネンタル・エクスチェンジ	アメリカ	金融	金融市場のテクノロジー・プラットフォーム企業。膨大な取引データを活用した情報サービス、住宅ローン取引の自動化などを成長の柱としている。	4.2%
ヤム・ブランズ	アメリカ	一般消費財・サービス	世界大手のファストフード・チェーン。ケンタッキーフライドチキン、ピザ・ハットなどをグローバルに展開。新興国で店舗網を積極的に拡大中。	3.9%
マクドナルド	アメリカ	一般消費財・サービス	圧倒的な知名度・ブランド力を持つ、世界大手のファストフード・チェーン。ハンバーガーなどの商品を、生産コストを抑え低価格で提供することなどにより競合他社との差別化を図る。	3.8%
ノバルティス	スイス	ヘルスケア	世界的大手の製薬会社。革新的な新薬、アイケア(眼科用医療機器、コンタクトレンズなど)、安価なジェネリック医薬品など、幅広い分野の製品を提供。	3.8%
ネスレ	スイス	生活必需品	世界最大の食品・飲料会社。コーヒーや菓子類、ペットフードなど多様な商品を販売。「ネスカフェ」や「キットカット」など世界的ブランドを多数保有し、「ブルーボトルコーヒー」も同社傘下。	3.7%

資産別構成の推移 (2021年3月末～2022年3月末)



※ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社の提供するデータを基に大和アセットマネジメントが作成したものです。※上記は、当ファンドの実質的な投資対象ファンドであるアンカーMFGグローバル株式マザーファンドのデータです。※比率はマザーファンドの純資産総額に対するものです。※比率の合計が四捨五入の関係で一致しない場合があります。※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準 (GICS) の産業分類によるものです。※個別企業の推奨を目的とするものではありません。

Ⅰ ファンドの目的・特色

ファンドの目的

日本を除く世界の金融商品取引所上場株式等に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 日本を除く世界の金融商品取引所上場株式等に投資します。
(注)「株式等」…DR(預託証券)およびリート(不動産投資信託証券)を含みます。
 2. 株式等の運用は、マゼラン・アセット・マネジメント・リミテッドが担当します。
 3. 世界セレクトティブ株式オープン(為替ヘッジあり/年2回決算型)と世界セレクトティブ株式オープン(為替ヘッジあり/年1回決算型)は為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。
 4. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、世界の株式等に投資します。
- ※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

Ⅰ 投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク(株価の変動、リート価格の変動)」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他(解約申込みに伴うリスク等)」

※一銘柄当たりの組入比率が高くなる場合があります。

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※「世界セレクトティブ株式オープン(為替ヘッジあり/年2回決算型)」と「世界セレクトティブ株式オープン(為替ヘッジあり/年1回決算型)」は、為替ヘッジを行いませんが、影響をすべて排除できるわけではありません。また、一部の通貨について、為替ヘッジを行わない場合があるため、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

I ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限) 3.3% (税抜 3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.1275% (税抜 1.025%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする 投資信託証券	年率 0.825% (税抜 0.75%)	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	年率 1.9525% (税込) 程度	
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
- 投資信託にはクーリング・オフ制度は適用されません。

世界セレクトティブ株式オープン 取扱い販売会社

販売会社名 (業態別、50音順) (金融商品取引業者名)	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
湘南信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第192号	○		
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○
丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号	○		

世界セレクトティブ株式オープン (年2回決算型) 取扱い販売会社

販売会社名 (業態別、50音順) (金融商品取引業者名)	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
湘南信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第192号	○		
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○
丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号	○		
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第105号	○		○

世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年1回決算型) 取扱い販売会社

販売会社名 (業態別、50音順) (金融商品取引業者名)	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号	○		

世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年2回決算型) 取扱い販売会社

販売会社名 (業態別、50音順) (金融商品取引業者名)	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号	○		
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第105号	○		○

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。